



# 前ブラシキット細溝ローラ、フルローラ用 DPA Greensmaster® カuttingユニット用

モデル番号 115-7377  
 モデル番号 115-7378  
 モデル番号 115-7379  
 モデル番号 120-9621  
 モデル番号 120-9622  
 モデル番号 120-9623  
 モデル番号 139-4383  
 モデル番号 139-5117  
 モデル番号 139-5125  
 モデル番号 139-7410  
 モデル番号 139-7412

取り付け要領

## 取り付け

# 1

### マシンの準備を行う

必要なパーツはありません。

### 手順

トラクションユニットとCuttingユニットの準備や取り付けについては、それぞれのオペレーターズマニュアルを参照してください。

# 2

### ブラシを取り付ける

この作業に必要なパーツ

|   |           |
|---|-----------|
| 1 | ブラシ       |
| 2 | ねじ        |
| 2 | キャップスクリュー |
| 2 | クランプ      |

### 手順

- 刈高アーム左右のどちらか1本をCuttingユニットのサイドプレート固定しているプラウボルト、ワッシャ、ナットを外す 1。
- 刈高アームについているローラ取り付けねじをゆるめる 1。
- 刈高アームをローラシャフトから抜き取る 1。
- Cuttingユニットの反対側でも、刈高アームからローラシャフトを抜き取る。



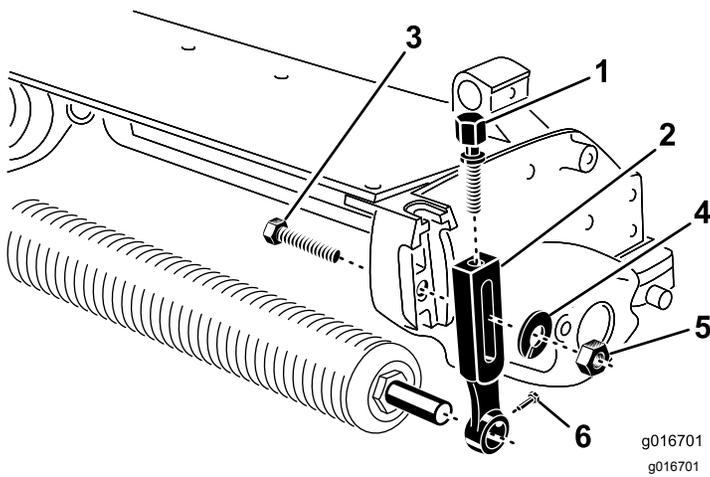


図 1

- |           |              |
|-----------|--------------|
| 1. 調整ネジ   | 4. ワッシャ      |
| 2. 刈高アーム  | 5. ナット       |
| 3. ブラウボルト | 6. ローラ取り付けねじ |

5. 各クランプにキャリッジボルトとナットを仮止めする 図 2。締めつけないこと。
6. ローラシャフトの左右端部にシャフトクランプを通す 図 2。
7. 先ほど外した刈高アームとボルトナットを使って、ローラをカッティングユニットに仮止めする。
8. 刈高の調整を行い、刈高アームを固定する。
9. 図 2 に示すように、前ローラとカッティングユニットとの間にブラシを入れる。

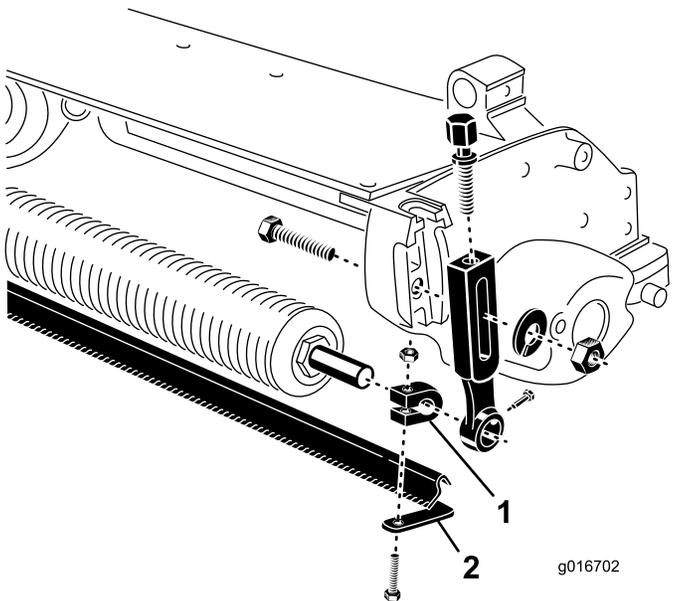


図 2

- |         |          |
|---------|----------|
| 1. クランプ | 2. スクレーパ |
|---------|----------|

10. ブラシがユニットの中心にくるように調整する。
11. スクレーパを出し入れしてローラとの隙間を適宜に調整する。スクレーパがローラに接触してはい

けない。スクレーパがローラに平行になっていることを確認する。

12. クランプをローラシャフトに固定しているキャップスクリューとナットを締め付ける。11 N = 1.1 kg.m = 96 in-lb にトルク締めする。
13. ローラとブラシが左右の刈高アームの中央にくるように調整する。
14. ブラシを下げて、ターフとの接触状態を適宜に調整する。
15. 調整ができればローラ取り付けねじを締め付ける。